

安芸太田町長が5月の記

後発生してない。また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合に対し、巡視・点検・調査・清掃・修繕など応急復旧

参加資格確認申請書を6月20日、入札書は6月23

参加資格などは次の通り。参加資格Ⅱ市内に本店

協会の協働による「小規模橋梁の簡易点検要領(案)」の活用と社会実装を推進。今年度はこれらの活動に加え、現場見学や意見交換を通じてさらにブラッシュアップする。

入六

り公共土

災した。

地域住民

するため

支所で

を優先的

通常事業

に

取り組

安全安心

で持続可

る基盤整

と支援を

至議案を

可決承認

には労働

山西JCTにおいては、

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

後発生してない。また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

後発生してない。また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

後発生してない。また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

後発生してない。また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

後発生してない。また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

後発生してない。また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

後発生してない。また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

また、新倉交差点、福

発生した場合に市が組合

参加資格確認申請書を6

参加資格などは次の通

協会の協働による「小

入六

# 総会と活動報告開く

## 3協議会の活動さらに深化

研究会  
来研究  
末一  
近ク

近未来コンクリート研 よる第4回総会が2日、  
研究会(十河茂幸代表)に 広島市中区で開かれた。



十河代表

初期ひび割れ、延命化、  
脱炭素などテーマ別に設  
けている3つの協議会が  
活動内容の報告を行った  
ほか、今年度の開催日程  
なども発表。各収支予算  
報告なども滞りなく承認  
した。

総会には、会に所属す  
る個人会員19人、団体会  
員22者が対面・オンライン  
で参加。十河代表は代  
表あいさつで、「総会後、  
活動報告を予定してお  
り、3つの協議会の中  
報告や今後の活動につ  
いて、時間の許す限りや  
りたい。また、各議案につ

いても慎重審議をお願い  
したい」と述べた。  
昨年度の同会は、オン  
ラインなどを駆使しなが  
ら総会を含む4回のテ  
マ別協議会を開催した  
一方、コロナ禍で現場見  
学などの企画が見送りと  
なった。  
22年度事業計画では、  
計5回の協議会開催を予  
定するほか、密を避けつ  
つ老朽化対策に資する新  
たな事業を模索。会には  
ベテラン技術者が多く所  
属することから、広島市  
の橋梁調査などとの連携  
を検討していくとした。  
また、総会後の活動報  
告では、昨年度「構造物  
の生産性向上技術研究  
(P)」協議会から改組し  
た「脱炭素コンクリート  
技術研究(S)」協議会

の主査を務める広島工業  
大学の坂本英輔准教授が  
建設分野へのIT活用、  
合理的設計、施工フロ  
ーに関する課題の抽出と解  
決のための提案などを行  
ったP協議会の活動を総  
括したほか、今後のS協  
議会では、脱炭素社会の  
あるべき姿を目指し、議  
論や情報収集・整理、提  
案のための試行実験や再  
現実験などを進めていく  
とした。  
江良和徳氏(極東興  
和)の「RC建造物の延  
命化技術研究(M)協議  
会」では、長寿命化・延  
命化に関する技術、方  
策、体制、人的資源、予  
算などに関する課題につ  
いての議論を重ねてお  
り、小規模橋梁の維持管  
理について、広島県土木  
協会との協働による「小  
規模橋梁の簡易点検要領  
(案)」の活用と社会実装  
を推進。今年度はこれら  
の活動に加え、現場見学  
や意見交換を通じてさら  
にブラッシュアップする。  
さらに、広島工業大学  
の竹田宣典教授による  
「初期ひび割れの抑制技  
術研究(C)協議会」で  
は、温度ひび割れの事例  
と対策、フライアッシュ  
高添加による抑制、初期  
ひび割れ抑制の適切な養  
生方法とチェックリスト  
などの検討を行った。今  
年度は発注者・設計者・  
施工者への説明や意識向  
上の働きかけ、同会が作  
成している「初期ひび割  
れの抑制対策の工事事  
例」の充実を図るとして  
いる。

岩  
5月21日  
争人札  
池緊  
(電気  
した  
供給  
施工定  
判明  
予定  
た。